

有効性・安全性・品質試験データ集

有効性

In vitro 除菌率試験
In vitro ウイルス減少率試験(新型コロナウイルス等)
 無機物に対する付着菌の除菌(シャーレ付着菌の除菌率試験)
 手袋に対する付着菌の除菌率試験
 布製品に対する付着菌の除菌(マスク付着菌の除菌率試験)
 室内浮遊菌の除菌率試験
 室内浮遊ウイルスの減少率試験
 室内落下菌の除菌率試験
 室内落下ウイルスの減少率試験
 室内付着菌の除菌率試験
 室内付着ウイルスの減少率試験

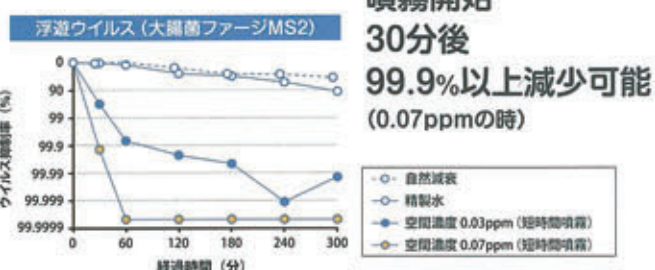
安全性

In vitro 皮膚刺激性試験
In vitro 眼粘膜刺激性試験
In vitro 気道上皮刺激性試験
 ウサギ7日間累積皮膚刺激性試験
 ラット28日間吸入毒性試験

品質

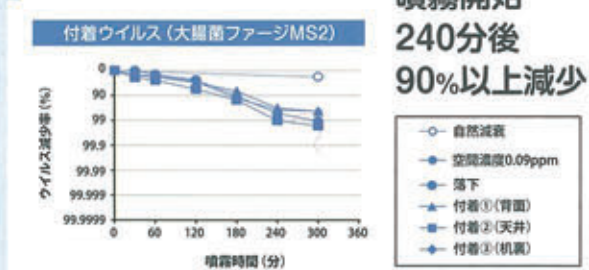
保存安定性
 使用時安定性 - 曝光の影響(紫外線域含)
 使用時安定性 - 曝光の影響(紫外線域除く)
 使用時安定性 - 空際の影響
 金属腐食作用試験
 成分分析

室内浮遊ウイルスの減少



試験実施施設: (一財)北里環境科学センター
 試験方法: 約6畳の試験空間に大腸菌ファージを均一に散布した後、
 シーエルファイン™を噴霧した際のウイルス数の減少を評価

室内付着ウイルスの減少



試験実施施設: (一財)北里環境科学センター
 試験方法: 約6畳の試験空間に大腸菌ファージを播種したシャーレを設置し、
 シーエルファイン™を噴霧した際のウイルス数の減少を評価

Pure, Safety, Effective

浮遊ウイルス
減少率
99%以上

JEM(日本電機工業規格)1467
 浮遊ウイルスに対する抑制性能評価試験
 ※ご使用状況により効果は異なります。

商品コード	43-600
品番	シーエルファイン10L(次亜塩素酸水)
JANコード	4987458436000
入数	1個(10L)
区分	雑貨 ※本品は医薬品ではありません
成分	次亜塩素酸 40 ± 10 ppm 塩化ナトリウム 10 mg/L以下
pH	5.0 ~ 6.5

原料	日本薬局方塩化ナトリウム、精製水
用途	●付着菌・ウイルスの除菌・減少 ●手袋・マスクの除菌・ウイルス減少 ●ドアノブ・手すり・ガラス窓・壁などの 除菌・ウイルス減少 ●手指の除菌・ウイルス減少 ●室内浮遊菌・浮遊ウイルスの除菌・減少
製造方法	3室型電解
保管方法	使用時以外は密閉して暗所保管(25℃以下)
使用期限	製造後10ヶ月※開封後は速やかにご使用ください

イオンレス™(次亜塩素酸水) シーエルファイン™

製造方法
3室型電解

浮遊・付着
ウイルスの
減少

幅広い
除菌効果

●販売元



ニプロ株式会社
 大阪府北区本庄西3丁目9番3号

●販売店



〒370-0845 群馬県高崎市新後閑町4-2
 TEL 027-323-7417

●販売店



□東京オフィス □太田営業所 □上越営業所
 □さいたま営業所 □宇都宮営業所 □E・C事業本部
 □前橋営業所

室内浮遊菌・浮遊ウイルスへの対策

有効塩素濃度 40±10ppm

NaCl 10mg/L以下

pH 5.0~6.5

室内の感染対策をどのようにお考えでしょうか。

ニプロは皆様のお役に立てますように長年の医療現場で培った技術を用いて室内の浮遊菌の除菌、浮遊ウイルスの減少に、次亜塩素酸による除菌・ウイルス減少効果を発揮する電解製のイオンレスTM(次亜塩素酸水)をご提案させていただきます。

※イオンレス

NaCl10mg/L以下かつNaCl以外のイオン総量15mg/L以下(自社基準)

Pure イオンの少ない次亜塩素酸水

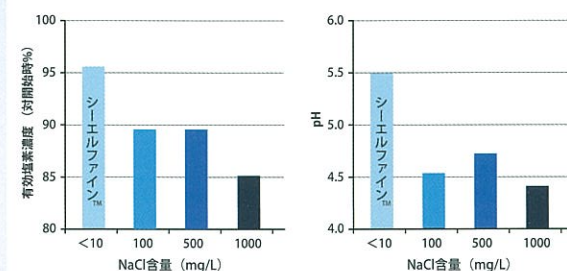
シーエルファインTMは、日本薬局方塩化ナトリウム、精製水を原料としています。

JIS B 8701:2017次亜塩素酸水生成装置に準拠した専用装置(3室型電解次亜塩素酸水生成装置)を用いて製造し、NaClや硝酸イオン、硫酸イオンといったイオンを低減しています。水質も同JIS規格に定められている水質基準に準拠しています。

安定性

保管条件:40℃ - 1ヶ月

基準:有効塩素濃度40±10ppm (30ppm=対開始時65%)
pH 5.0~6.5
塩素酸含量0.6ppm以下(水道水品質基準)



Safety 安全性試験に基づく、室内噴霧の実現

シーエルファインTMは、40ppmの有効塩素濃度に調整しており、希釈することなくご使用いただくことが可能です。また、pHを微酸性に調整し、金属腐食作用や噴霧による生体の影響についても確認試験を実施しました。

ご使用濃度については、労働安全衛生法の塩素管理濃度の基準(0.5ppm)を参考に、お客様の環境に合わせてご提案いたします。

腐食試験

試験実施施設:
JFEテクノリサーチ(株)

試験方法:
JIS C 60068-2-52を
転用し加速評価

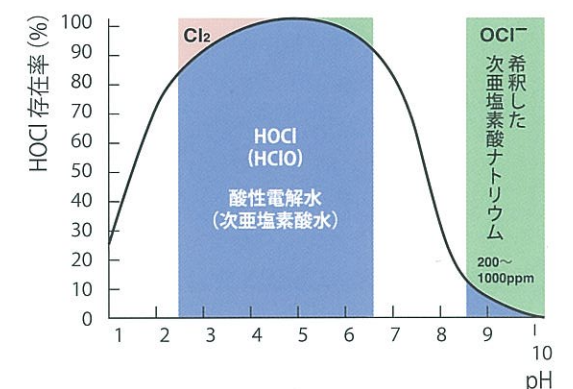
試験対象	次亜塩素酸水		水道水
	空間濃度 0.02ppm	空間濃度 0.5ppm	
SUS304			
鉄			
電子基板 部品			

Effective

次亜塩素酸による 除菌・ウイルス減少効果

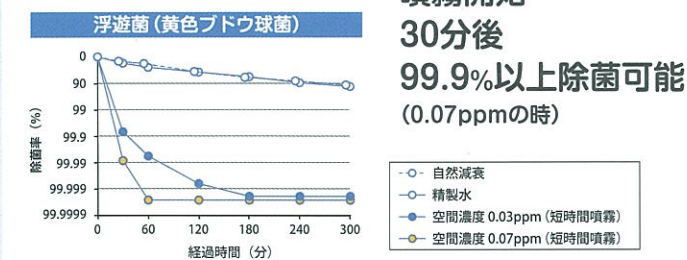
酸性電解水(次亜塩素酸水)は次亜塩素酸ナトリウムに比べて殺菌因子である次亜塩素酸(HOCl)の比率が高いため、低濃度で高活性を示します。

シーエルファインTMは次亜塩素酸(HOCl)存在率が高いpH5.0~6.5に調整したイオンレスTM(次亜塩素酸水)です。



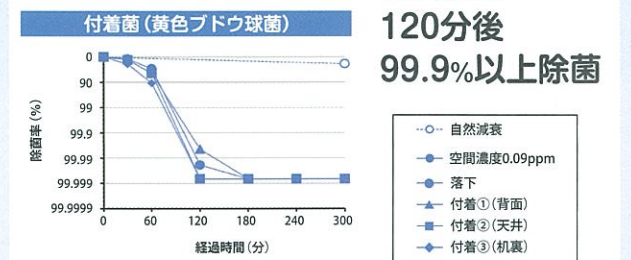
出典:「ノロウイルス対策と電解水」財団法人機能水研究振興財団 2008年

室内浮遊菌の除菌



試験実施施設: (一財)北里環境科学センター
試験方法: 約6畳の試験空間に黄色ブドウ球菌を均一に散布した後、シーエルファインTMを噴霧した際の菌数の減少を評価

室内付着菌の除菌



試験実施施設: (一財)北里環境科学センター
試験方法: 約6畳の試験空間に黄色ブドウ球菌を播種したシャーレを設置し、シーエルファインTMを噴霧した際の菌数の減少を評価

In vitro 除菌率試験

3Log以上の除菌(=除菌率:99.9%以上)が認められたHOCl濃度

菌種	作用時間			
	20s	1min	5min	30min
黄色ブドウ球菌	≥3ppm	≥3ppm	≥3ppm	≥3ppm

試験実施施設: VibioSphen(フランス)
試験方法: 菌懸濁液と各種濃度のシーエルファインTMとを一定時間混和した際の菌数の減少を評価

In vitro ウイルス減少率試験

3Log以上のウイルス減少(=減少率:99.9%以上)が認められたHOCl濃度

菌種	作用時間			
	20s	1min	5min	30min
SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)	≥0.3ppm	≥0.3ppm	≥0.3ppm	≥0.3ppm
インフルエンザウイルスA型/H1N1	≥1ppm	≥0.3ppm	≥0.3ppm	≥0.3ppm

試験実施施設: VibioSphen(フランス)
試験方法: ウイルス懸濁液と各種濃度のシーエルファインTMとを一定時間混和した際のウイルス数の減少を評価